（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　LUMO南浦和校			
○保護者評価実施期間	2025年　1月　22日	～	2025年　2月　11日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34	（回答者数）	31
○従業者評価実施期間	2025年　1月　22日	～	2025年　2月　11日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月　11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の個別性が高い。	習い事や他事業所などの把握。順次連携。 発達段階に応じて個別支援の変更。 家庭での困りごとを具体的に聞くなど、丁寧なヒヤリングを通しての個別支援計画の作成を行っている。	一定の職員だけが理解するのではなく、全職員が個別支援計画の内容、連係情報の把握をする。
2	原始反射を背景とした運動メニューをメリハリをもって提供している。	原始反射統合を背景とした新たな運動メニューの発案を職員全体で行っている。 セッション時に切り替わりのタイミングや座って話を聞く時間などを設けてメリハリを持った内容を提供する取り組みを行っている。	原始反射を統合するだけでメニューを作成するのではなく、思考力や集中力、協調性など、日常生活で必要となることを体感できることも考え、メニューの作成に取り組んでいく。
3	子どもの様子、状況を職員間で共有し、保護者に伝える事が出来ている。	セッション前後のMTGで子どもの様子という観点で職員間で話し合い、共有。気になる点があれば、保護者に連絡する取り組みを行っている。	保護者に様子をお伝えする際は、運動面の事だけでなく、個別支援計画の内容に沿ったフィードバックを心掛ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の対策、保護者に対しての伝達。	緊急連絡先のファイルがあるなど、緊急時の対策は出来ているが、どのように動くのかを保護者の方に見える化が出来ていない。	定期的に緊急時の対策の見直し・改訂を継続していく。 救急要請、AED使用、感染症対策等、職員間で実施してい るこどもたちの安全を守る取り組みについても、保護者と共 有できるよう様々な形で発信していく。
2	地域交流などの、地域、家族へのかかわり。	会社の特性上、地域交流などの地域、家族の関わり、交流の場は設けていない。この事を保護者の方にお伝えできていない。	会社で、アートイベントや登山イベントなどを行っていることを発信。地域の垣根を越えて交流を行っていることをお伝えする
3	新人職員が多い。	9月開所と言う事もあり、職員の年数が若い。現段階で作り上げている最中になっている。	定期的な研修を行っている。本部の職員が定期的に来所し、人材の育成などを行っている。